

～成田地域生活支援センターのプログラムを紹介します！～

こんにちは！成田地域生活支援センターのピアスタッフ清水です。今、ホットなセンタープログラムを紹介します。少しでもご興味のあるものが見つかると思います。一緒にプログラムに参加してみませんか。もちろん、プログラムのない時でもゆったり気ままに過ごせます。

・ZOOM de サロン

コロナ禍での支援センターのNEWプログラムとして誕生しました。

最初は、ZOOMのやり方を覚えるのに苦労しましたが、徐々に慣れて、好みの背景に変えたり、お面をつけたりと今ではすっかり楽しんでます。参加者の方々も、ZOOMマスターになりつつあります。喋るテーマも自由で、あっという間に30分が終わってしまいます。いいですよー。ZOOM！

・当事者研究

「当事者研究」とは、自分の困りごとを仲間とあれこれ話し合いながら「研究」するプログラムです。参加してみると、一人だけで考えている時よりも、安心できたり、頭も心もスッキリしたり、新たな物の見方や対処方法を発見できる。目から鱗な体感を味わえると思います。困っていることは抱え込むよりも吐き出す方が楽ですよ。心を開放してみませんか？

・手工芸部

手工芸部は、マスクケースやフェイスシールドなどのコロナ予防対策の物品作りから七夕・ハロウィン・クリスマス・節分など季節の行事に合わせたグッズや施設の飾りつけ備品など数々の作品を生み出してきました。最初のアイデアから参加者と職員で話し合って制作されます。どんなものが完成するのだろうと毎回、ワクワクします。

※各プログラムとも、新型コロナウイルス感染防止の為に検温、消毒、換気を徹底して開催いたします。お気軽にお立ちよりください。

センター紹介者：支援センターピアスタッフ 清水

【お問い合わせ先】成田地域生活支援センター 電話：35-7771 住所：成田市本三里塚226-13

~~~~~

## ～精神障害者家族会「なりた会」～

なりた会は、障がい者の家族として同じ悩みを持つもの同士が、気兼ねなく話すことで情報交換を行い、障がいによって生じる様々な症状や生活態度への対応について、体験を通じ学び合うと共に、



精神障がいについての理解をより一層深め、家族自らが自分を取り戻し元気に生活できるようにしようとするものです。皆さんの参加をお待ちしています。

精神障害者家族会「なりた会」会長 佐久間富男

【お問い合わせ先】成田市障がい者福祉課 電話：20-1539

~~~~~

成田市のメンタルヘルス支援の利用状況

	令和2年9月末（昨年との差）	令和元年9月末
成田市の人口	131,997人（-935）	132,932人
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,225人（+35）	1,190人
自立支援医療受給者証所持者数	1,789人（+94）	1,695人

第31号（令和3年3月）

FAX : 0476-24-2367

～事業所紹介～

成田市あじさい工房

～新たなチャレンジ、してみませんか？～

あじさい工房は２００２年に成田市保健福祉館にオープンしました。２０１２年からは指定管理者制度に基づき、医療法人社団聖母会が運営しています。現在は地域にお住いの精神障がいのある方に、障害者総合支援法に基づく日中一時支援事業を提供しています。



あじさい工房は、定期的に通うことで生活リズムを整えたり、作業やプログラムに参加することで、体力や集中力を付けたり、色々な人と関わる中で自分自身の体調を理解するなど、これからの生活に向けた準備や練習の場となっています。

仲間との出会いや生きがいの発見、色々なことへチャレンジ、してみませんか？

活動内容

【作業】

定期的に、ミニコミ誌の折込や配布、区長回覧などの書類の仕分けなどの受注作業を行っています。他にも、廃棄海図を使用した紙製品の作成を行い「空の駅さくら館」や、福祉関係のイベントで販売しています。作業に対しては、参加した内容や量に応じて作業工賃が発生します。

【プログラム】

栄養実習などの調理、活動内容や日ごろの悩み事を話し合うミーティングのほか、スポーツ、パソコン講習、所外レク、施設間交流、季節のイベント、DVD上映会などを行っています。

作業やプログラム以外では、絵を描く、読書、おしゃべりをするなど、思い思いに過ごしています。



廃棄海図を使った紙バッグや封筒など

【メンバーさんの声】

- ・家に一人であるより、みんなに会えるのでいい場所です。
- ・めげずにへこたれずに通っています。結構楽しいです。
- ・単純作業だが、楽しくて工賃ももらえてありがたいです。
- ・請負作業は単純だけどミスのないよう気を付けています。
- ・みんな、コロナにめげずにやっています！ファイト一発！

【お問い合わせ先】成田市あじさい工房

電話：２７－８２１１

住所：成田市赤坂１－３－１

（成田市保健福祉館内）

～事業所紹介～

医療法人社団透光会ひだまり

～それぞれの「はたらく」を支援します～



当事業所は、成田市役所から車で 30 分ほどの旧大栄町にあり、周囲は特産のさつまいも畑に囲まれており、のどかな雰囲気のある場所にあります。精神科を主科とする大栄病院が法人の母体であることから、利用されている方の半数以上が精神障がいのある方です。

事業としては就労継続支援 B 型、自立訓練(生活訓練)を行っています。就労継続支援 B 型では、「今は自信がないけれど、将来働きたい」という方や「日中作業をしたい」という方に、ひだまりのお店でスタッフとして作業をしながら、それぞれの目標に向かって一歩ずつ歩いていくことをサポートしています。自立訓練(生活訓練)では「人と関わることが苦手」「今まで夜型の生活をしてきたから日中通ってこられるか心配」「入院をしていたから体力が続くか心配」など一人ひとりの状況に応じて相談を重ねていき、力と自信をつけるお手伝いをさせていただき、目標に向かって段階的にステップアップを目指していきます。



就労継続支援 B 型、自立訓練(生活訓練)通所型を利用されるどちらの場合においても、スタッフとして3つの作業場(パン工房・喫茶・ワーク)から担当する作業場をご自身の目標や適性に合わせて選んでいただきます。パン工房では、パンや焼き菓子の製造を行っていただきます。パンや焼き菓子を製造することは初めての方がほとんどです。洗い物や材料のカット・軽量など自分ができることからスタートします。喫茶では、パンやドリンクの販売、喫茶店の設備維持管理を行っています。接客やお客様がいらっしゃる場所での仕事がメインとなります。ワークでは、ビニールハウスで野菜の栽培、施設内清掃、内職作業を行っています。自分のペースでこつこつ作業を進めていける場所であり、人と関わることに苦手意識がある方でも取り組みやすい環境づくりが可能となっています。

作業だけではなく、月ごとにプログラムがあります。全体ミーティングでは、月に1度、お店運営の意見や感想などを出し合いながら、1か月の振り返りや翌月に向けて検討課題などを話し合います。また、作業療法士による SST(社会技能訓練)を週に2回行っています。4～5人程度のグループで対人関係についての悩みや課題、就労に向けての取り組みなどについて話し合います。就職を目指していきたいという方には当事業所だけでなく、圏域の障害者生活・就業支援センターなどと連携し、勉強会の開催、職場体験実習、就職活動を進めています。

ひだまりをご利用頂く中で成功体験を徐々に積み上げつつ、それぞれの「はたらく」姿の実現に向けて、一緒に取り組んでいます。ぜひ一度見学にお越し下さい。

【お問い合わせ先】医療法人社団透光会ひだまり

電話：73-4695 住所：成田市南敷461-5